

# デジタル田園都市国家構想交付金事業の 検証について



# デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）

## 概要

- 地方公共団体が主体となって、デジタルを活用しながら行う、人口減少対策や活力のあるまちづくり等の地方創生に資する取組を支援するため、費用の一部を補助するもの。

## 特徴

### （K P I と P D C A サイクル）

- 単に事業を実施するだけではなく、具体的な数値目標（K P I）を設定し、その達成に向けて P D C A サイクルを運用する。

### （外部団体も含めた効果検証）

- 外部有識者を含む検証機関を設置し、K P I の達成度などについて効果検証を行い、事業の改善や効果の拡大を図る。

### （官民協働）

- 地方公共団体のみの取組ではなく、民間と協働して事業を行う。

## 玉野市のデジ田交付金事業

- 若者の地元定着推進事業
- IT企業等誘致推進事業

# 若者の地元定着推進事業

## 目的・課題

- 人口減少対策として、若者を市内に留めるための施策、子育て世代の定住促進につながる施策を推進してきたが、依然、市内高等学校卒業者の市内就職率は減少傾向にある。
- 若者の地元定着にあたり、地元企業が就職先の選択肢となるよう、「地元企業の情報発信力の強化」と「地元企業の魅力向上」を推進する。

## 事業概要（個別事業）

- －新たなキャリア教育システムの構築・運用
- －電子版たまのの企業ガイドによる地元企業の情報発信
- －地元企業のステップアップ支援

## 数値目標（KPI）※増加分

|                                           | 開始前  | 1 年目         | 2年目          | 3年目          |
|-------------------------------------------|------|--------------|--------------|--------------|
| 市内高等学校卒業者のうち就職者の市内就職率（％）                  | 39.5 | +7.0 (46.5)  | +3.5 (50.0)  | +3.5 (53.5)  |
| 本事業により構築した新たなキャリア教育の仕組みによる活動を実施した学校の割合（％） | 0.0  | +10.0 (10.0) | +23.0 (33.0) | +67.0(100.0) |
| 本事業を通してステップアップに取り組んだ企業数（社）                | 0.0  | 20 (20)      | 20 (40)      | 20 (60)      |

# 新たなキャリア教育システムの構築・運用

## 目的

- 地域資源を活用し、地域を教育フィールドにした教育実践充実
- 玉野市の児童・生徒・保護者に玉野市の魅力を再発見してもらう。

## 現状・課題

- 小・中学校のキャリア教育は、地元企業の情報を生徒や保護者に伝える絶好の機会だが、現在は生徒ごとの体験活動に留まっており、学びを保護者や地域への情報発信するなど、地域に還元することが不十分。
- 各校によって取組や質に差がある。また、教職員の人事異動により活動が衰退するなど、持続可能なものになっていない。

## 事業概要

- 生徒が体験した地元企業の魅力を保護者や地域に発信し、地元企業の認知度を向上させ、身近なものと感じてもらえる『新たなキャリア教育システム』を構築・運用する。
- その中で、ポスターや発表会のほか、動画などデジタル技術も活用して、学習したことをアウトプットできる場を充実させ、児童・生徒の郷土愛の醸成を図る。
- キャリア教育に協力してくれる地元企業の基礎情報や協力内容（“企業見学”、“職場体験活動”、“学校での講演”など）をまとめた『玉野市キャリア人材バンク』を作成し、これを有効活用することで、市全体のキャリア教育の質を向上させる。

# 新たなキャリア教育システムの構築・運用

## 令和5年度 取組実績

決算額：1,028千円

- すべての学校を対象にした事業説明会、およびカリキュラム作成のための研修会を開催し、教職員の理解を促した。
- 各校において充実した活動が行われた。

宇野中：地域について学びを生かし、3学期に副市長や教育長・商工観光課をお招きした提案会を実施

荘内中：生徒と地域の大人が、将来について話し合う会「コミュトレ」を開催した。

荘内小：地域の企業をお招きしての職業体験フェスタを開催

- キャリア教育人材バンク（子ども夢応援団）の募集を開始した。



## 令和6年度 取組状況

予算額：1,801千円

- 学校の教職員向け研修会を開催し、地域連携を取り入れたカリキュラム作成を行った。
- キャリア教育人材バンクへの登録及び活用を積極的に周知し、地域人材と学校のマッチングを促進させている。また、学校向けポータルサイトを作成し、利用を促進している。



# 電子版たまのの企業ガイドによる地元企業の情報発信

## 目的

- ・ 市内に留まらず全国を対象として、高校生のほか保護者や一般市民への情報発信を促進し、地元企業の認知度向上を図る

## 現状・課題

- ・ 地元企業の情報や魅力をとりとめた「たまのの企業ガイド」を作成し、地元の小中高校やハローワーク等に配布することで地元企業のPRに努めている。
- ・ また、企業からのメッセージ動画が閲覧できるQRコードの掲載、企業へのインタビュー記事を掲載した公式SNSの開設等の工夫を加えている。
- ・ 補足情報を閲覧するためにはQRコードの読み込みが必要でシームレスに情報にアクセスできない。

## 事業概要

- ・ 地元企業の情報をより広域に、効率的に伝えるために、電子版「たまのの企業ガイド」を作成する。
- ・ 電子版とすることで、企業からのメッセージを動画埋込にする等、紙媒体と比較してシームレスかつ効率的に情報を届けられることができ、2次拡散も容易となることから従来の配布先に留まらない幅広い周知が可能となる。



# 電子版たまのの企業ガイドによる地元企業の情報発信

## 令和5年度 取組実績

決算額：1,694千円



公式SNS  
(Instagram)



電子版



2023版を電子書籍化（令和6年1月）

- ・58社掲載
- ・文字検索、目次から各ページへの移動、企業ページから企業ホームページ等への移動が可能となり利便性が向上
- ・チラシ、URL等で周知が可能となり発信力が増強



- ・合同就職説明会へのチラシ設置、就職支援機関や大学等への訪問、メールにより周知活動を実施
- ・公式SNSとの親和性が高く、訪問先でも好感触

## 令和6年度 取組実績

予算額：2,052千円

2024版の電子書籍化を実施した。

- ・66社掲載
- ・令和5年度と同様に関係各所PR、イベント等でのチラシ配布等により周知を進めている。
- ・企業紹介動画、先輩社員のメッセージ動画の掲載等、効果的な内容の充実に向けて企業への理解促進、協力依頼を進めている。



# 地元企業のステップアップ支援

## 目的

- 地元企業の経営基盤を強化させる

## 現状・課題

- 地元企業に対し、人材育成・ホームページ作成・販路開拓等の取組への補助を実施してきた。
- コロナ禍を経て何事にも変化が急激・急速な時代となり、持続可能な産業振興には変化に対応できることが必須となっている。
- 人材不足が長期化しており、企業における事業の継続・発展に深刻な影響を及ぼしている。

## 事業概要

- 地元企業の変化に対応できる柔軟な経営基盤整備のため、情報発信・人材確保・外部人材等の活用の取組への補助を新設。デジタル技術の活用を交え、地元企業の魅力・強みの向上を支援する。
- 外部人材等の活用により地元企業の課題解決を支援する。また、新たな課題解決手法の選択肢となるよう、外部人材等の活用への理解を促進し、人材不足の現状を間接的に補完する。



# 地元企業のステップアップ支援

令和5年度 取組実績

決算額：8,487千円

## ○中小企業ステップアップ支援事業補助金

- ・地元企業の柔軟な経営基盤の整備に資する取組を支援
- ・企業紹介動画の作成・人材確保・外部人材等の活用を対象に追加
- ・既存の区分を含め、71件・3,211千円の交付

## ○魅力ある職場環境づくり応援事業補助金

- ・地元企業の職場環境改善に資する取組を支援
- ・デジタル機器等の導入による業務負担軽減の取組を対象に追加
- ・既存の区分を含め、22件・4,670千円の交付

## ○副業人材活用推進事業

- ・副業人材を活用した地元企業の課題解決を支援
- ・試験的な実施として、地元企業3社に対し副業人材4名が支援を実施中



ステップ



魅力ある



副業人材

令和6年度 取組状況

予算額：16,090千円

- ・補助事業は令和5年度の内容を継続しつつ、周知活動により更なる活用促進を図った。
- ・副業人材活用推進事業は対象を最大8社まで拡大し、本格的実施へ。  
令和5年度の実績を持って、セミナー等により理解促進を図った上で参加企業を募り、一層の活用を促進した。

## 若者の地元定着推進事業 KPI達成状況

| K P I 名称                               | 事業開始前  | R 5 目標値 | R 5 実績  | 目標達成・未達成理由                                                                   |
|----------------------------------------|--------|---------|---------|------------------------------------------------------------------------------|
| 市内高等学校卒業者のうち就職者の市内就職率                  | 39.50% | 46.50%  | 35.90%  | 他県の半導体等工場建設により、県内企業の人材獲得競争が激化した。今後、玉野地区雇用開発協会・高等学校と協力して若年層への市内企業の知名度向上に取り組む。 |
| 本事業により構築した新たなキャリア教育の仕組みによる活動を実施した学校の割合 | 0.00%  | 10.00%  | 100.00% | すべての学校においてキャリア教育の教育課程を作成し、児童生徒に向けてのキャリア教育を実施した。                              |
| 本事業を通してステップアップに取り組んだ企業数                | 0社     | 20社     | 25社     | DXをはじめとした業務効率化に取り組む意欲ある企業の潜在的な需要を資金面で後押した。                                   |

# IT企業等誘致推進事業

## 目的・課題

- 若者の市内定着のため、若者の希望職種に合致するような企業誘致を検討してきたが、実現が困難な状況が続いている。一方、テレワーク等の普及により地方の魅力が再認識され、その実践地として選ばれている。
- これらの状況を踏まえ、まとまった用地を必要としないIT企業やテレワーク等柔軟な働き方を実践する人材をターゲットとした誘致活動を推進する。

## 事業概要（個別事業）

- －ワーケーションの推進によるIT企業等の誘致
- －在宅ワークセミナー開催によるデジタル人材の育成
- －移住ポータルサイト等を活用した移住・定住の推進

## 数値目標（KPI）※増加分

|                         | 開始前 | 1年目                | 2年目                | 3年目                |
|-------------------------|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| ワーケーションツアー参加企業数（件）      | 0   | 6 (6)              | 6 (12)             | 6 (18)             |
| デジタル人材育成セミナー受講者数（人）     | 0   | 10 (10)            | 20 (30)            | 20 (50)            |
| IJUコンシェルジュを通じて移住した組数（組） | 86  | 10 (96)            | 10 (106)           | 10 (116)           |
| ポータルサイトのページビュー数（PV）     | 0   | 12,000<br>(12,000) | 25,200<br>(37,200) | 26,400<br>(63,600) |

# ワーケーションの推進によるIT企業等の誘致

## 目的

- 企業誘致に向けた実践的なプロモーションを実施する
- 地方移転を検討するIT企業等にとっての当事者視点での本市の魅力や不足要素を把握する。

## 事業概要

- 働く場、生活する場としての本市の魅力を伝えるためにワーケーションツアーを開催する。
- また、本ツアーやフォローアップ調査の実施を通じて、移転検討企業の当事者視点での本市の魅力や不足要素を把握し、効果的なプロモーションにつなげる。
- ワークブースを試験的に設置し、本市の企業立地先、ワーケーション先としての可能性を調査するとともに、市内の駅や宿泊施設といった地元企業へ情報提供を行い、ワークブースの設置を促すなど市全体での受入体制を整える。
- 本ツアーの開催やフォローアップ調査の結果を参考に、ワーケーションモデルプランを検討・作成し、都市圏のIT企業等にプロモーション活動を行う。
- なお、本ツアーを通じて、追加の環境整備や受入体制構築の必要性が明らかになった場合は、本事業とは別に、新たな事業を企画・立案することを検討する。

# ワーケーションの推進によるIT企業等の誘致

令和5年度 取組実績

決算額：14,217千円

## ■ワークブース「テレキューブ」の設置（R5.7.1～）

利用状況(R5.7～R6.3) 延べ55人54h30m

## ■法人向けワーケーションツアーの開催

参加企業による玉野マリン水族館振興策の検討・プレゼンテーション

夜の水族館見学ツアー、競輪体験教室を開催

## ■個人向けワーケーションツアーの開催

法人向けに参加した企業が自主的に無償で開発したアプリの実証実験

参加者によるワーケーションモデルプランの検討・プレゼンテーション

令和6年度 取組状況

予算額：11,470千円

- ・ テレキューブの設置を継続(～R7.6)
- ・ ツアー開催ではなく、モデルプランの作成、公表などの情報発信
- ・ 旅行事業者等対象のツアー企画・開催に対する補助を創設



# 在宅ワークセミナー開催によるデジタル人材の育成

## 目的

- IT企業で即戦力として働ける人材を育成する

## 事業概要

- テレワークやクラウドソーシングなどに必要な実務的なスキルやノウハウを学べるセミナーを開催する。
- クラウドソーシングで働くことの魅力やキャリアデザイン、働く方法を理解してもらうセミナーを開催する。
- セミナー受講者にはフォローアップ調査として、受講後に現状調査を実施し、実際にICTを活用した仕事をしているか、仕事を始める際や継続するうえでどんな課題があったかを調査し、セミナー自体の魅力の向上につなげる。
- そのほか伴走支援として、セミナー受講後に仕事を探す・始める人の支援、仕事を始めた人が継続するための支援、スキルアップするための支援を必要に応じて行う。

# 在宅ワークセミナー開催によるデジタル人材の育成

## 令和5年度 取組実績

決算額：3,116千円

### ■在宅ワークセミナーの開催

- 子育て世代の女性を中心に、在宅ワーカーとしての育成と就労支援を行い、時間や場所にとらわれず効率的にスキルアップを図るとともに、自営型及び雇用型在宅ワークでの就労支援を行うことで、在宅ワークを含めた就業率の向上を目指すもの。

#### ◇入門セミナー

概要：在宅ワークとはどのようなものかということ学ぶセミナー

参加人数：55名(会場：15名、オンライン：13名、アーカイブ：27名)

#### ◇スキルアップセミナー（全6回開催）

概要：在宅ワークに必要なスキルを学び、実践するセミナー

Googleツール、Microsoft Office、チャットツール等

参加人数：175名(会場：44名、オンライン：29名、アーカイブ：102名)

## 令和6年度 取組状況

予算額：6,797千円

- 令和5年度同様の入門セミナー、スキルアップセミナーに加え、応用実践セミナーをオンラインで開催した
- 令和5年度のセミナー参加者を対象にした取組をどうするかが課題



# 移住ポータルサイト等を活用した移住・定住の推進

## 目的

- ・ 移住希望者等に対して、住環境を含めた市の魅力を効果的にPRする

## 事業概要

- ・ 移住希望者をターゲットとした移住ポータルサイトを新たに構築し、移住者が求める「暮らし」「子育て」「教育」「移住支援」などの情報について、これまで市HPの各部署に分散していた情報をまとめ、一体的に分かりやすい情報発信を行う。
- ・ 移住希望者が移住後の生活がイメージできるよう先輩移住者の体験をまとめたインタビュー記事や動画等を新たに作成する。
- ・ 移住ポータルサイトや動画とリンクさせながら、移住支援情報や先輩移住者からのアドバイスなどの移住希望者が求める情報をまとめ、移住希望者にターゲットを絞ったパンフレットを作成する。
- ・ 都市圏を始めとした県外への効果的なPRのため、移住PRコンテンツを作成し、SNS、webメディア等あらゆる機会を通じて戦略的なPRを実施する。
- ・ これらの実施により、移住施策のさらなる強化が図られる。

# 移住ポータルサイト等を活用した移住・定住の推進

令和 5 年度 取組実績 決算額：12,826千円

## ① 移住ポータルサイト構築業務（令和 5 年10月23日開設）

委託事業者：福泉株式会社  
決算額：2,079千円

〈ポータルサイト開設前・後のページビュー数の比較〉

| 時 期  |                      | ページビュー数 |
|------|----------------------|---------|
| 開設 前 | 令和 5 年 9 月（9/1～9/30） | 134回    |
| 開設 後 | 令和 6 年 2 月（2/1～2/29） | 7,589回  |



## ② 移住定住促進 P R コンテンツ制作業務

委託事業者：TOPPAN株式会社  
決算額：1,848千円



### ◆Webコンテンツによる情報発信

移住を希望する方々に、まずは玉野市を知ってもらい、移住候補地として検討いただくこと目的に、移住マッチングWebサービス「ピタマチ」、Webメディア「Nativ.media」への本市特集記事を掲載（9 記事）

### ◆広告掲載〈実施期間：令和 6 年 1 月24日～ 3 月15日実績〉

移住施策の P R 及び新たに構築した①移住ポータルサイトへの誘客のため、各種Web媒体へ広告を掲載

|          | 種 別                        | 広告表示回数      | クリック数   |
|----------|----------------------------|-------------|---------|
| S N S 広告 | Meta広告（Facebook、Instagram） | 280,584回    | 3,314回  |
| バナー広告    | Yahoo! ディスプレイ 広告           | 17,605,077回 | 10,600回 |

# 移住ポータルサイト等を活用した移住・定住の推進

## 令和6年度 取組状況

予算額：15,465千円

- ・ 移住関心層に向けて、より一層の周知を行うため、魅力的なPRコンテンツを作成して情報発信を行うほか、都市部の移住相談会等で配布する移住関連パンフレットの更新を行うなど、本市の認知度を高める情報発信を引き続き行うことで、移住・定住の促進を図った。

## 移住定住プロモーション業務

〈予算額〉4,090千円（財源：地方創生推進交付金 1／2）

委託事業者：株式会社クラビズ

決算見込額：4,070千円

- ・ 移住定住パンフレットの作成
- ・ 移住PR動画の作成
- ・ 各種SNSやWebコンテンツを活用した効果的な移住プロモーションの実施など

# IT企業等誘致推進事業

| K P I 名称             | 事業開始前 | R 5 目標値  | R 5 実績   | 目標達成・未達成理由                                                                                           |
|----------------------|-------|----------|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ワーケーションツアー参加企業数      | 0件    | 6件       | 6件       | 当初の予定通りツアーの開催ができたため。                                                                                 |
| デジタル人材育成セミナー受講者数     | 0人    | 10人      | 37人      | リアル会場だけでなく、オンラインでの受講もできるようにしたため、参加しやすかったと思われる。また、SNSでの広告も周知に効果的であったと考えられる。なお、前段階の入門セミナーには55人の参加があった。 |
| IJUコンシェルジュを通じて移住した組数 | 86組   | 96組      | 98組      | 昨年度とほぼ同数であるが、丁寧な相談対応や市内案内を継続することで、一定の成果を上げることができた。                                                   |
| 移住ポータルサイトのページビュー数    | 0PV   | 12,000PV | 15,679PV | ポータルサイト公開後、web広告を実施した。ポータルサイトへ誘導することができ、プレビュー数の増加につながった。                                             |